

授業 科目名	歯科衛生学概論 (Introduction of dental hygiene)	履修年次: 必修: 歯 1 年	単位数: 2 単位 30 時間 コード: DHL120	担当教員名: 科目責任者 鈴鹿 祐子 (研究室 教育棟 A404) 山村有希子 中野有生 (非常勤講師)
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識, Ⅳ 健康づくりの実践, Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1. 歯科衛生士の歴史について説明できる				
2. 歯科衛生士の業務を説明できる				
3. 医療倫理の概要について理解し説明できる				
4. 歯科衛生士の業務の進め方を理解し説明できる				
5. 医療安全を理解し説明できる				
6. 多職種連携における歯科衛生士の役割を説明できる				
7. 歯科衛生士としての将来の展望を描くことができる				
〔授業の概要〕				
歯科衛生士の役割と法的な位置づけ、専門職としての自覚・心構え・医療倫理を学ぶとともに、歯科衛生士の業務を実践するために必要な基本的知識について学ぶ。授業は講義と授業テーマについてのグループワークと発表を行い、歯科衛生学の基礎を学ぶ。				
キーワード: 歯科衛生士の業務、歯科衛生士の活動、歯科衛生学				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第1回	4/9	ガイダンス	履修の準備、歯科衛生学とは	鈴鹿祐子
第2回	4/16	歯科衛生士の変遷	歯科衛生士の歴史と現状	鈴鹿祐子
第3回	4/23	歯科衛生士の業務①	歯科衛生士法と歯科衛生士の役割	鈴鹿祐子
第4回	4/30	歯科衛生士の業務②	歯科予防処置 歯科保健指導 歯科診療補助	山村有希子
第5回	5/7	歯科診療とは	歯科診療各科について	山村有希子
第6回	5/14	歯科衛生士の活動①	歯科衛生士業務・進学・研究について	中野有生
第7回	5/21	歯科衛生倫理①	歯科衛生士と医療倫理 倫理の必要性、患者の権利	山村有希子
第8回	5/28	歯科衛生倫理②	歯科衛生士の倫理綱領 事例検討 (グループワーク)	山村有希子
第9回	6/4	歯科衛生業務の進め方	歯科衛生過程について	山村有希子
第10回	6/11	医療安全	リスクマネジメント、感染予防対策	鈴鹿祐子
第11回	6/18	歯科衛生士の専門性	歯科衛生研究、生涯学習、組織団体	鈴鹿祐子
第12回	6/25	多職種との連携	保健・医療・福祉分野の専門職、多職種連携	鈴鹿祐子
第13回	7/2	歯科衛生士の活動②	歯科衛生士の活動の場	鈴鹿祐子
第14回	7/9	歯科衛生士の活動③	海外における歯科衛生士	鈴鹿祐子
第15回	7/16	まとめ	歯科衛生士の将来の展望と自分の将来	鈴鹿祐子
履修条件		特になし		
予習・復習		予習としてテキストを熟読のこと。復習として、レジメの見直しおよびテキストの熟読を推奨する。		
テキスト		歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論, 全国歯科衛生士教育協議会監修, 医歯薬出版		
参考書・参考資料等		適宜、授業中に紹介する。		
学生に対する評価		試験 30%、課題 (レポートなど) 60%、学習態度 10%により総合的に評価する。		

授業 科目名	歯科医療安全論 (Patient safety in Dentistry)	履修年次:	1 単位 15 時間	酒巻 裕之[歯科医師]、 鈴鹿 祐子[歯科衛生士] (A408 研究室)
		必修: 歯 2 年	コード: DHL230	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 II コミュニケーション能力 III 実践に必要な知識				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 本授業では、すべての歯科診療に係る医療安全の基礎を学ぶ。医療安全の定義、インシデント発生の 予防ならびにインシデント発生時にその影響を最小限にすること、さらにインシデント発生後の対策に ついて、その概要を理解する。				
〔授業の概要〕 医療安全の定義、倫理・モラルについて学ぶ。インシデントの定義、発生要因、予防法、クライシス 発生時の対処法と発生後の対策について、それぞれの場面に手法について理解する。 (本授業はオムニバス形式により行い、主に医療安全コミュニケーションについては酒巻裕之が歯科医 師に実務経験に基づき、感染対策については歯科衛生士の実務経験に基づき鈴鹿祐子が担当する。) キーワード: 医療安全、ヒューマンエラー、スタンダードプリコーション				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ィ マ	内 容	担当
第 1 回	4/14	ガイダンス	医療安全とは、医療倫理、モラ ル	酒巻裕之
第 2 回	4/21	インシデント	インシデントとは、発生要因	酒巻裕之
第 3 回	4/28	リスクマネジメント	ヒューマンファクター工学、リ スクマネジメント	酒巻裕之
第 4 回	5/12	医療安全コミュニケーション	コミュニケーションスキル	酒巻裕之、 鈴鹿祐子
第 5 回	5/19	感染対策①	スタンダードプリコーション、 感染症対策、診療中の対応	鈴鹿祐子
第 6 回	5/26	感染対策②	スタンダードプリコーション、 環境対策、器具の処理	鈴鹿祐子
第 7 回	6/2	クライシスに対する対応	クライシスコミュニケーショ ン、クライシスに対する対処 法、分析法	酒巻裕之、 鈴鹿祐子
第 8 回	6/9	まとめ	チーム用安全	酒巻裕之、 鈴鹿祐子
履修条件		特になし		
予習・復習		予習としてテキストを功徳のこと。復習にはノートの見直しを推奨する。		
テキスト		「チームステップス[日本版] 医療安全-チームで取り組むヒューマンエラー対策」落 合和徳 他 編著 メジカルビュー社刊 歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論 第 2 版」 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版刊		
参考書・参考資料等		「歯科衛生士のための感染予防スタンダード」井上 孝 編著、医歯薬出版刊 「歯科医療における国際標準 感染予防対策テキスト滅菌・消毒・洗浄」ICH 研究会編 集、医歯薬出版刊		
学生に対する評価		定期試験 80%、課題 10%、学習態度 10%により、総合的に評価する。		

授業 科目名	チーム歯科医療論 (Team approach for dental health)	履修年次:	単位数: 1 単位 15 時間	担当教員名: 鈴鹿祐子[歯科衛生士] (研究室教育棟 A404) 佐々木みづほ[歯科医師] 松木千紗[歯科衛生士]
		必修:歯 2 年	コード: DHL231	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識, Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム, Ⅱ コミュニケーション能力				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
歯科衛生士の取り巻く社会的な環境を学び、次いで歯科領域で行われる検査・処置などの情報の共有のあり方や動作内容などの手順を学習した上で、チーム医療とは何かを理解する。				
また、歯科臨床の場でチーム医療の実践に必要な歯科材料や診療機器の取り扱い方法、診療での共同動作等を理解する。				
〔授業の概要〕				
歯科保健医療を安全で確実に実行するためには情報の共有と緊密な連携が必要になってくる。歯科専門職種の分担業務を相互に十分に精通し、補完することで歯科保健医療を実施する際に、経験する可能性のある事例を挙げて学ぶ。 (本授業はオムニバス方式により行い主に、歯科診療については歯科衛生士が、医科疾患患者については歯科医師が担当する。)				
キーワード: 歯科衛生士業務、医療安全、歯科診療室管理、歯科診療補助、共同動作				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第 1 回	6/17	ガイダンス 歯科衛生士の役割	歯科診療における歯科衛生士の 役割	鈴鹿祐子
第 2 回	6/24	医療安全と感染予防①	医療安全について	鈴鹿祐子
第 3 回	7/1	医療安全と感染予防②	救急処置 感染予防と感染防止対策	鈴鹿祐子
第 4 回	7/16	歯科診療の基礎知識①	歯科診療室の管理 歯科用ユニットについて	松木千紗
第 5 回	7/15	歯科診療の基礎知識②	共同動作の基本 共同動作の方法	松木千紗
第 6 回	7/22	歯科器械・歯科材料の知識	歯科器械・歯科材料について	松木千紗
第 7 回	7/24	歯科衛生士がかかわる 医科疾患患者①	全身疾患を持つ患者の歯科診療補 助	佐々木みづほ
第 8 回	7/29	歯科衛生士がかかわる 医科疾患患者②	周術期における歯科診療補助 歯科訪問診療における対応	佐々木みづほ
履修条件		特になし		
予習・復習		テキストを熟読した上での受講が望ましい。テーマごとにプレ・ポストテストを実施し、学んだことの確認と振り返りを行う。		
テキスト		歯科衛生学シリーズ:「歯科診療補助論 第 2 版」全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版刊		
参考書・参考資料等		指定しない。授業の中で適宜紹介する。		
学生に対する評価		定期試験 (90%)、課題・学習態度 (10%) により総合的に評価する。		

授業 科目名	歯科疾患予防学 (Preventive dentistry)	履修年次:	単位数: 1 単位 15 時間	担当教員名: 鈴鹿祐子[歯科衛生士] (研究室教育 A404)
		必修: 歯 2 年	コード: DHL241	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識, Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム, Ⅱ コミュニケーション能力				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
歯科衛生業務である歯科疾患予防処置としてう蝕予防, 歯周病予防の理論とその方法を理解し, 対象者に合わせた予防法の選択と提案ができることを目標とする。				
〔授業の概要〕				
歯科疾患 (う蝕・歯周病) とプラークなどの口腔内のリスク要因と全身的なリスク要因の関連性を理解し, 対象者からの情報収集, 予防可能な要因の抽出, 予防法の実践について学習する。 担当教員は歯科衛生士の実務経験を生かした実践的なライフステージ別のプラークコントロール法, 歯科予防処置としてのフッ化物の応用法, 歯周病治療の流れの授業を行う。				
キーワード: プラークコントロール, う蝕リスク, 歯周病リスク, フッ化物, ライフステージ				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	
第 1 回	12/2	ガイダンス	講義の進め方, 評価について 歯科予防処置の法的位置づけ (歯科衛生士法)	
第 2 回	12/9	う蝕・歯周病の 基礎知識	口腔内付着物・沈着物 う蝕の発生 (要因, 乳歯・永久歯の違い), 初期う蝕の特徴	
第 3 回	12/16	う蝕予防①	食品・嗜好飲料のう蝕誘発性, 代替甘味料	
第 4 回	12/23	う蝕予防②	フッ化物応用法の基礎 (フッ化物の性状)	
第 5 回	1/6	う蝕予防③	フッ化物応用法の種類と特徴, 指導, 小窩裂溝填塞法の種類と術式	
第 6 回	1/13	歯周病予防①	歯周病の分類, 原因, プロセス, 全身状態と歯周病の関連 患者 (対象者) からの情報収集	
第 7 回	1/20	歯周病予防②	口腔診査用器具の名称と用途 歯周病検査 (歯周ポケット, 歯の動揺度, 炎症の有無) について プラークコントロール 機械的・化学的プラークコントロール 1	
第 8 回	1/27	歯周病予防③	プラークコントロール 機械的・化学的プラークコントロール 2 まとめ	
履修条件		特になし		
予習・復習		テキストを熟読した上での受講が望ましい。テーマごとに確認テストを実施し、学んだことの確認と振り返りを行う。		
テキスト		歯科衛生学シリーズ: 「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第 2 版」, 「歯周病学 第 2 版」, 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版刊 口腔衛生学で使用したテキスト		
参考書・参考資料等		歯科衛生士のための齲蝕予防処置法 中垣晴男他編著 医歯薬出版刊		
学生に対する評価		定期試験 (90%)、学習態度 (10%) により総合的に評価する。		

授業 科目名	発達歯科衛生学Ⅰ (pediatric dental hygiene)	履修年次:	2 単位 30 時間	酒巻 裕之[歯科医師]、 松木 千紗[歯科衛生士] (A408 研究室)
		必修: 歯 2 年	コード: DHL250	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅱ コミュニケーション能力 Ⅲ 実践に必要な知識				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 出生から青少年期までの成長・発達をふまえ、人々の生涯にわたる歯科衛生の維持・向上を支援することを目標に、障害児を含めた身体、精神機能の特徴や発達について学び、各ライフステージにおける歯科衛生の意義および口腔疾患の特徴・予防・治療法の実践に繋げる知識を習得する。				
〔授業の概要〕 出生から青少年期までの顎・顔面頭蓋と歯列・咬合の発育、乳歯・永久歯列期・混合歯列期の特徴、小児の口腔疾患と治療に関する知識、障害児の身体、精神機能、口腔内の特徴と歯科的対応を学ぶ。 妊娠初期から青年期までの行動、ならびに、各ライフステージにおける歯科衛生士の重要性を理解し、歯科治療・歯科保健指導・予防処置時における対応法を学ぶ。(本授業はオムニバス方式により行い、小児の発育、歯科治療について、歯科医師の実務経験に基づき酒巻裕之が、歯科衛生士の役割について、歯科衛生士の実務経験に基づき松木千紗が担当する。)				
キーワード: 小児、発育、ライフステージ、歯科的支援、障害児				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第1回	10/7	ガイダンス、小児の発育	発育段階と小児の生理的特徴	酒巻裕之
第2回	10/21	顎顔面領域の発育	顔面頭蓋や歯の発育と異常	酒巻裕之
第3回	10/28	小児の歯科疾患①	齲蝕、歯周疾患	酒巻裕之
第4回	11/4	小児の歯科疾患②	口腔軟組織の異常	酒巻裕之
第5回	11/11	小児の歯科治療①	小児期の特徴と診療体系	酒巻裕之
第6回	11/18	小児の歯科治療②	小児歯科の診療補助	酒巻裕之
第7回	11/25	小児の歯科治療③	小児歯科のメンテナンス	酒巻裕之
第8回	12/2	小児患者の対応法	小児の対応法の種類、要点	酒巻裕之
第9回	12/9	母子保健法 妊産婦期の歯科衛生	発達歯科衛生学の意義、母子保健法、 妊産婦の特徴と歯科衛生管理	松木千紗
第10回	12/16	【特別講義】摂食機能の獲得	乳幼児期の摂食機能の獲得	特別講義講師
第11回	12/23	乳児期の歯科衛生 幼児期の歯科衛生	乳幼児期における歯科衛生管理、 食生活指導、予防処置法	松木千紗
第12回	1/6	学童期の歯科衛生 青年期の成果衛生	学齢期の特徴と歯科衛生管理、学校歯科 保健、青年期の特徴と歯科衛生管理	松木千紗
第13回	1/13	障害の特性と歯科的特徴	障害の特性と歯科的特徴、 障害者歯科での保健医療システム	酒巻裕之
第14回	1/20	【特別講義】小児の歯科診療	小児の口腔機能の育成	特別講義講師
第15回	1/27	まとめ	障害児の特徴と歯科衛生管理 授業全体を通じたまとめ	松木千紗
履修条件		特になし		
予習・復習		予習としてテキストを熟読のこと。復習にはノートの見直しを推奨する。		
テキスト		歯科衛生学シリーズ「小児歯科学」全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版刊		
参考書・参考資料等		歯科衛生士講座「小児歯科学」第1版 永末書店。授業の中で適宜紹介する。		
学生に対する評価		定期試験 80%) 課題 10%、学習態度 10%)により、総合的に評価する。		

授業 科目名	発達歯科衛生学Ⅱ(成人・ 高齢者) (Geriatric dental hygiene)	履修年次: 必修: 歯2年	単位数: 3 単位 45 時間 コード: DHL260	担当教員名: 科目責任者 佐々木みづほ[歯科医 師]、(研究室 A406)、山中紗都[歯科 衛生士]、酒巻 裕之[歯科医師]、
〔DP〕Ⅱ コミュニケーション能力 Ⅲ 実践に必要な知識 Ⅵ 健康づくりの実践				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 ①成人期、高齢期の特徴についての理解し、各ライフステージにおける口腔健康管理を実践できるための知識を修得する。②有病者や要介護高齢者、障害のある人を理解し、歯科診療時の対応方法と口腔健康管理を実践できるための知識と技術を習得する。③要介護者に対する介護技術の基本を習得する。				
〔授業の概要〕 成人期、高齢期の特徴を理解し、歯科衛生の意義および口腔疾患の特徴を学び、専門職として口腔健康の維持・向上を支援できる能力を身につける。さらに障害者および有病者の全身・精神・口腔の特徴を把握するとともに、歯科治療時の対応や援助法について学ぶ。食事支援、口腔衛生管理の方法、介護技術は演習により実践的に学ぶ。				
キーワード: キーワード: 高齢者、障害者、口腔健康管理、食事支援、介護技術、口腔衛生管理				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ィ マ	内 容	担当
第1回	10/3	ガイダンス、成人期の歯科衛生(1)	発達歯科衛生学Ⅱとは成人期の特徴と口腔	佐々木みづほ
第2回	10/10	成人期の歯科衛生(2)	食生活と栄養、成人期の口腔健康管理	佐々木みづほ
第3回	10/17	高齢期の歯科衛生(1)	高齢者の特性、加齢による変化	佐々木みづほ
第4回	10/24	高齢期の歯科衛生(2)	高齢者に多い疾患と歯科治療	佐々木みづほ
第5回	11/26	高齢期の歯科衛生(3)	高齢者の栄養・介護、口腔健康管理	佐々木みづほ
第6回	12/3	障害者の歯科衛生(1)	障害の概念、障害の理解と歯科治療	佐々木みづほ
第7回	12/10	障害者の歯科衛生(2)	障害者の口腔健康管理	佐々木みづほ
第8回	12/17	障害者の歯科衛生(3)	第1回から第7回の振り返り	佐々木みづほ
第9回	12/17	まとめ	介護の基本と技術	佐々木みづほ
第10・11回	11/7	介護技術の基本・障害の理解	障害の疑似体験と車椅子の操作	佐々木・山中
第12・13回	11/14	口腔健康管理(1)	障害者・要介護高齢者の口腔健康管理	山中紗都
第14・15回	11/21	口腔健康管理(2)	有病者の口腔健康管理	山中紗都
第16・17回	11/28	高齢者の栄養管理	経管栄養と輸液セット	酒巻佐々木山中
第18・19回	1/30	食支援	咀嚼嚥下機能の低下した者の食事支援	特別講義講師
第20・21回	2/4	介護技術の基本	体位変換と移乗・移動	特別講義講師
第22・23回	10/31	高齢者・障害者の歯科医療	高齢者・障害者の歯科医療	佐々木みづほ
履修条件	特になし			
予習・復習	予習として高齢期の特徴と障害については、教本を熟読すること。口腔健康管理に関する知識と技術は復習することを推奨する。			
テキスト	歯科衛生シリーズ「高齢者歯科学」「障害者歯科学第」全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版刊			
参考書・参考資料等	歯科衛生士講座:「高齢者歯科学第3版」「障害者歯科学」永末書店刊			
学生に対する評価	試験(30%)、課題・レポート(50%)、学習態度(20%)により総合的に評価する。			

授業 科目名	歯科衛生体験演習 (Early exposure training on dental hygiene I)	履修年次:	単位数:1 単位 30 時間	担当教員名: 科目責任者 山村有希子 (研究室 教育棟 A409), 松木千紗・山中紗都・ 栗原涼子
		必修: 歯 1 年	コード:DHL220	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅱ コミュニケーション能力, Ⅲ 実践に必要な知識, Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
歯科衛生士の専門教科を学ぶ前に、歯科衛生士の 3 大業務について能動学習と早期体験を行うことで、今後の学習意欲を高める。				
〔授業の概要〕				
保健医療専門職への道を歩み始めた一歩として、将来、歯科衛生士として社会的役割を果たしていく自覚を持つことは必要である。本授業では、演習を通じて歯科衛生士 3 大業務である「歯科予防処置」「歯科保健指導」「歯科診療補助」とは何か、理解することで、歯科衛生士像を明確にし、学習意欲を高める。また、今後の授業・実習に繋がるようにする。本演習では、山村・松木・山中・栗原が歯科衛生士の実務経験に基づき講義および演習の支援を行う。				
キーワード: 歯科衛生士 3 大業務、歯科予防処置、歯科保健指導、歯科診療補助				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第 1 回	11/19	ガイダンス 歯科衛生士の 3 大業務とは	演習の進め方、評価、注意事項 歯科衛生士の 3 大業務 (講義)	山村有希子
第 2・3 回	11/26	接遇マナー	身だしなみ、言葉遣い、挨拶、電話 応対、メールマナー、手紙の書き方	山村有希子
第 4・5 回	12/3	感染対策について	手洗い方法、グローブ、マスク装着	松木千紗
第 6・7 回	12/10	歯科保健指導演習①	歯ブラシの種類・大きさ・毛の硬 さ、歯磨剤の成分をまとめる	山村有希子
第 8・9 回	12/17	歯科保健指導演習② 歯科予防処置①	口腔内観察・他人の歯を磨いてみる	山村有希子
第 10-13 回	1/7	歯科診療補助演習① 歯科予防処置② 歯科保健指導演習③	4 つのグループに分けて行う ① 歯科診療室見学 ② 3 年生に口腔内染色、口腔衛生 指導を行ってもらう	栗原涼子 山中紗都
	1/14		③ 歯面研磨 (顎模型・十円硬貨) ④ 印象採得・石膏注入 (硬貨)	
第 14・15 回	1/21	歯科診療補助演習②	(株) GC コーポレートセンター研修 歯科材料の知識・取り扱い	松木千紗 山中紗都 栗原涼子
履修条件		特になし		
予習・復習		演習ではレジメを配布するので復習をすること。		
テキスト		特になし		
参考書・参考資料等		適宜、授業中に紹介する。		
学生に対する評価		課題 (記録物・レポート) 90%、学習態度 10%により総合的に評価する。		

授業 科目名	歯科衛生体験演習Ⅱ (Basic Seminar indental hygiene)	履修年次:	単位数:1 単位 30 時間	担当教員名: 松木千紗 [歯科衛生士] (研究室 教育棟 A410), 鈴鹿祐子 [歯科衛生士], 栗原涼子 [歯科衛生士]
		必修: 歯 2 年	コード:	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅰ 倫理観とプロフェッショナルリズム, Ⅱ コミュニケーション能力, Ⅲ 実践に必要な知識				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 専門科目の講義で学んだ知識が、実際の臨床現場でどのように生かされ、実践されているのかを見学や演習を通して早期体験することにより、3年次からの臨床実習に向けた学習意欲を高める。				
〔授業の概要〕 実務経験を持つ歯科衛生士により、2年後期前半までに修得した専門科目の知識を実際の臨床現場において見学・演習を行うことで、3年前期から開始される臨床実習に有機的につなげていく。とくに本学歯科診療室における歯科診療補助、継続・個別支援（歯科予防処置・歯科保健指導）の実際を見学することで、今後臨床実習を行う際の具合的なイメージを持てるように動機づけを行う。				
キーワード: 歯科予防処置、歯科保健指導、歯科診療補助、歯科材料、早期体験				
〔授業計画〕				
回 数	日 付	テ ィ マ	内 容	担 当
第1回	未 定	ガイダンス	演習の進め方、評価について	松木千紗
第2回		手指消毒・患者誘導	手指消毒の方法、歯科診療室における患者誘導の実際	松木千紗
第3・6回		歯科診療補助の早期体験	歯科診療室における歯科診療補助の実際	松木千紗 栗原涼子
第7・8回		グループワーク	歯科診療室における歯科衛生士の心配り・役割について	松木千紗 栗原涼子
第9・10回		歯科機械・ユニットの見学	(株) モリタショールーム研修 (予定)	松木千紗
第11・12回		歯科予防処置 歯科保健指導の早期体験	継続・個別支援演習の早期体験	鈴鹿祐子 松木千紗
第13-15回		歯科材料の基礎知識・取り扱い	(株) ジーシーコーポレート センター研修 (予定)	松木千紗
履修条件		特になし		
予習・復習		予習として教科書の関連部分にあらかじめ目を通しておくこと。復習として、演習で学んだ内容をまとめておくこと。		
テキスト		特になし		
参考書・参考資料等		適宜、授業中に紹介		
学生に対する評価		課題（記録物・レポート）80%、学習態度 20%により総合的に評価する。		

授業 科目名	歯科診療補助演習 (Seminar on dental materials and assisting for dental practice)	履修年次:	単位数: 2 単位 60 時間	担当教員名: 鈴鹿祐子[歯科衛生士] (研究室教育棟 A404) 佐々木みづほ[歯科医師], 山村有希子 [歯科衛生士] 山中紗都 [歯科衛生士], 松木千紗 [歯科衛生士], 栗原涼子[歯科衛生士]
		必修: 歯 3 年	コード: DHL331	
		実務経験のある教員による授業科目		

ⅠDPⅢ 実践に必要な知識, Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム, Ⅱ コミュニケーション能力				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 歯科診療に使用する各種歯科材料・歯科用器械の取り扱い方法など、患者が安全に快適に歯科診療を受けるための歯科診療補助・介助技術を習得することを目的とする				
〔授業の概要〕「歯科材料学」で修得した歯科材料、器械、器具に関する知識を臨床で十分に活用するために、材料、器械、器具の取り扱い方法や診療内容に合わせたトレーセッティングを習得する。また、歯科医療チームの一員としての歯科衛生士の役割や意義について臨床での活用を視野にいれ、安全・快適な歯科診療に必要な技術を身につける。(本授業はオムニバス方式により行い、実務経験に基づき歯科衛生士、歯科医師が担当する。)				
キーワード: 歯科材料、歯科診療補助、感染予防、トレーセッティング、器材管理				

〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第1・2回	4/15	ガイダンス 歯科診療の基礎	演習の進め方、歯科診療室の管理、患者誘導、ポジショニング	鈴鹿祐子 松木千紗
第3・4回	4/22	模型材	歯科用石膏の取り扱い 模型作製	山中紗都
第5・6回	5/13	印象材	各種印象材の取り扱い	鈴鹿祐子
第7・8回	5/20	仮封材 バキュームテクニック	各種仮封材の取り扱い バキュームテクニック (マネキン)	山中紗都 松木千紗
第9・10回	5/27	共同動作 バキュームテクニック	器具・材料の受け渡し バキュームテクニック (相互)	山中紗都 松木千紗
第11・12回	6/3	スタディモデル①	アルジネート印象採得 (相互)	鈴鹿祐子 松木千紗
第13・14回	6/6	合着材・接着材	各種合着材・接着材の取り扱い	松木千紗
第15・16回	6/13	成形修復材	コンボジットレジンの取り扱い 成形修復材の取り扱い、歯肉圧排	山中紗都
第17・18回	6/20	ラバーダム防湿①	ラバーダム防湿の目的、使用器材 1 歯露出法・2 歯露出法 (マネキン)	山中紗都
第19・20回	6/27	その他の材料	衛生材料 (綿花・ガーゼ) の取り扱い ブローチ綿花の作製、根管充填材	松木千紗
第21・22回	7/4	ラバーダム防湿②	1 歯露出法・2 歯露出法 (相互)	山中紗都 山村有希子
第23・24回	7/11	器材管理	スケーラーシャープニング	山村有希子
第25・26回	7/18	暫間被覆冠①	既製冠を用いる方法	佐々木みづほ 栗原涼子
第27・28回	7/24	暫間被覆冠②	即時重合レジンを用いる方法	佐々木みづほ 栗原涼子
第29・30回	7/25	スタディモデル②	模型作製	佐々木みづほ 松木千紗

履修条件	歯科材料学、チーム歯科医療論の単位を修得済みであること。
予習・復習	演習前には必要な知識の確認を行い、演習後には知識と技術を統合した復習をすること。
テキスト	最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論第2版」全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版刊
参考書・参考資料等	指定しない。授業のなかで適宜紹介する。参考資料を配布する。
学生に対する評価	学習態度 (40%)、課題・レポート (60%) により総合的に評価する。

授業 科目名	歯科予防処置演習 (Seminar on dental prophylactic treatment)	履修年次: 必修: 歯 3 年	単位数: 2 単位 60 時間 コード: DHL341	担当教員名: 鈴鹿祐子[歯科衛生士] (研究室 教育棟 A404) 山村有希子[歯科衛生士]
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅳ 健康づくりの実践, Ⅲ 実践に必要な知識, Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 歯科衛生士が行うう蝕予防処置と歯周病予防処置の基本技術ができるようになることを目的とする。				
〔授業の概要〕 う蝕予防処置ではフッ化物歯面塗布法・小窩裂溝填塞法, 歯周病予防処置では歯周病検査・スケーリング・ルートプレーニング, 器械を用いたスケーリング・歯面清掃法の基本技術をマネキン演習ならびに相互演習を通じて習得する。歯科衛生士の実務経験がある 2 名の教員が, 臨床に繋がる技術習得に向けた支援を行う。				
キーワード: 歯周病検査, スケーリング・ルートプレーニング, フッ化物歯面塗布法, 小窩裂溝填塞法, 歯面研磨				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ィ マ	内 容	担当
第 1・2 回	4/10	ガイダンス 口腔観察	演習の進め方, 評価について, 探針操作, 口腔概診, プロービング①	鈴鹿祐子
第 3・4 回	4/17	歯周病予防処置①	手用スケーラーの操作法, プロービング②	鈴鹿祐子
第 5・6 回	4/24	歯周病予防処置②	口腔健診 (口腔観察) (相互)	鈴鹿祐子 山村有希子 西村克枝
第 7・8 回	5/1	歯周病予防処置③	シックル型スケーラーの操作法	鈴鹿祐子
第 9・10 回	5/8	歯周病予防処置④	グレイシー型スケーラー操作法①前歯部	
第 11・12 回	5/15	歯周病予防処置⑤	グレイシー型スケーラー操作法②上顎臼歯部	
第 13・14 回	5/22	歯周病予防処置⑥	グレイシー型スケーラー操作法③下顎臼歯部	
第 15・16 回	5/29	歯周病予防処置⑦	超音波スケーラー・歯面研磨・PMTC	鈴鹿祐子 山村有希子 西村克枝
第 17・18 回	6/5	歯周病予防処置⑧ (相互)	口腔概診, 探針操作, プロービング 部位別スケーラー操作法①上下前歯部	
第 19・20 回	6/12	歯周病予防処置⑨ (相互)	口腔概診, 探針操作, プロービング 部位別スケーラー操作法②上顎臼歯部	
第 21・22 回	6/19	歯周病予防処置⑩ (相互)	口腔概診, 探針操作, プロービング 部位別スケーラー操作法③下顎臼歯部	
第 23・24 回	6/26	う蝕予防処置①	フッ化物歯面塗布法	山村有希子
第 25・26 回	7/3	う蝕予防処置② (相互)	フッ化物歯面塗布法	山村有希子 鈴鹿祐子
第 27・28 回	7/10	う蝕予防処置③	小窩裂溝填塞法	山村有希子
第 29・30 回	7/17	歯周病予防処置⑩	スケーラー操作法のまとめ	鈴鹿祐子 山村有希子
履修条件		歯科疾患予防学の単位を修得済みであること。		
予習・復習		演習記録を作成し, 学びの確認と振り返りを行う。演習前には必要な知識の確認, 演習後には知識と技術を統合した復習をすることが望ましい。		
テキスト		「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第 2 版」全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版刊		
参考書・参考資料等		教本「歯周病学 第 2 版」全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版刊		
学生に対する評価		学習態度 (60%), 課題・レポート (40%) により総合的に評価する。		